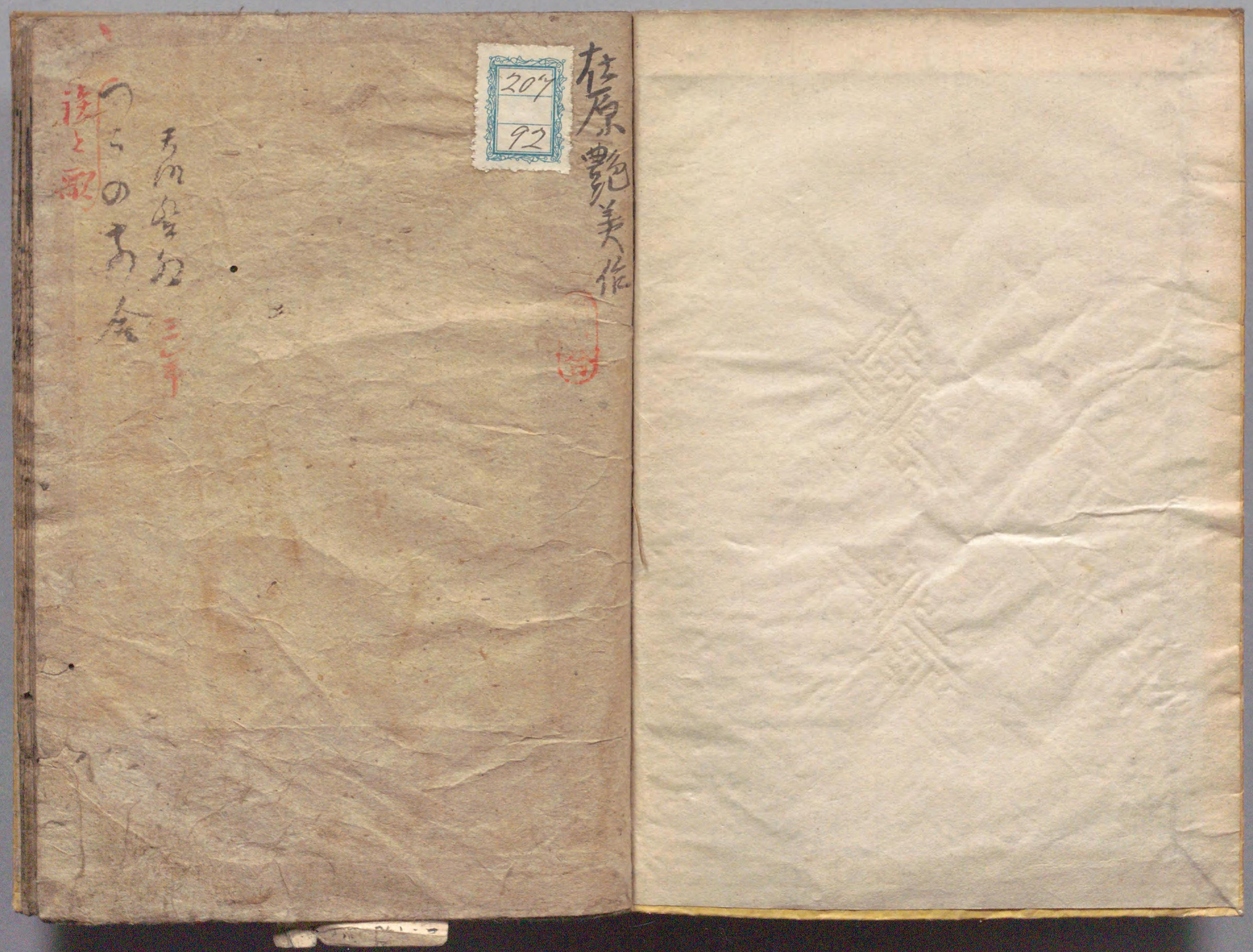
読と歌通の寄合

207
92

国立国会図書館　読と歌通の寄合：2巻 207-92

ガラス使用



国立国会図書館　読と歌通の寄合：2巻 207-92

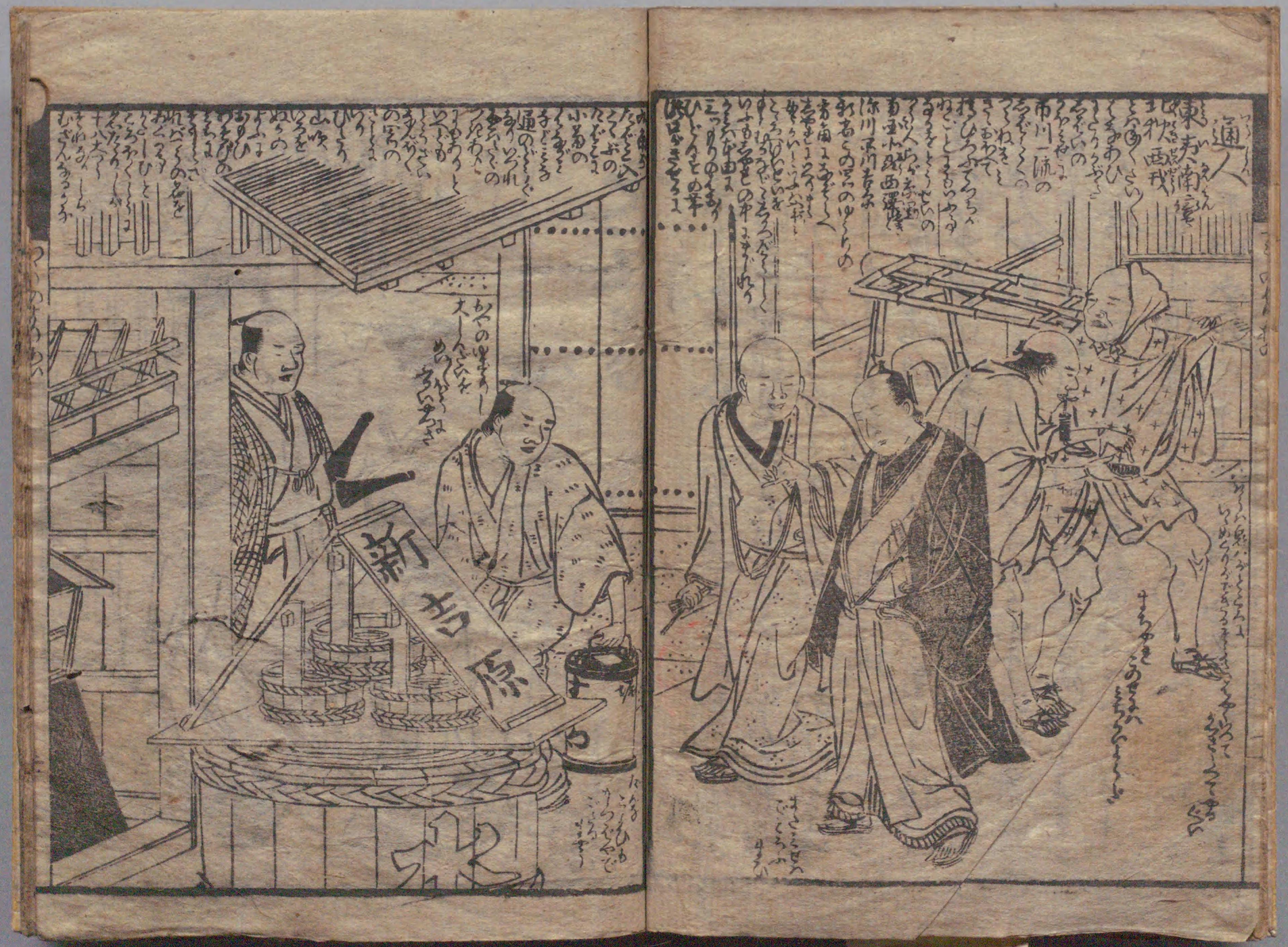
ガラス使用

序

雀海中に蛤となり通人の明眼書を居ながら
なる浮世の変化見聞を捨て隠逸の味
わひ深く陸奥義教仁乃教訓い空頃
風と耳に入まを見稼人を似て通人の友まる
べき浮世の流のあなたこそ乱れ侠
法師の世浮い嘯濤寺めるひ世をぶしの作なも
此通人を頼まるべく
蛮し今更改まれど文字を誤これも
種を拾ひ二冊に纂く初春の一笑とす
則ち世中通會今題とのべ 本所業平橋
天明癸卯のとし睦月 作者 在原艶美

国立国会図書館　読と歌通の寄合：2巻 207-92

ガラス使用



国立国会図書館　読と歌通の寄合：2巻 207-92

ガラス使用

国立国会図書館　読と歌通の寄合：2巻 207-92

ガラス使用

国立国会図書館　読と歌通の寄合：2巻 207-92

ガラス使用

国立国会図書館　読と歌通の寄合：2巻 207-92

ガラス使用

国立国会図書館　読と歌通の寄合：2巻 207-92

ガラス使用

国立国会図書館　読と歌通の寄合：2巻 207-92

ガラス使用

国立国会図書館　読と歌通の寄合：2巻 207-92

ガラス使用

国立国会図書館　読と歌通の寄合：2巻 207-92

ガラス使用

国立国会図書館　読と歌通の寄合：2巻 207-92

ガラス使用

八根松
猪牙松
吉野屋

国立国会図書館　読と歌通の寄合：2巻 207-92

ガラス使用

国立国会図書館　読と歌通の寄合：2巻 207-92

ガラス使用

207
92

国立国会図書館　読と歌通の寄合：2巻 207-92

ガラス使用

国立国会図書館　読と歌通の寄合：2巻 207-92

ガラス使用

国立国会図書館　　読と歌通の寄合：2巻 207-92

ガラス使用